OITA MEDICAL CENTER

のぞみ No.41

独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター 診療連携情報誌 2016年 1月 第41号

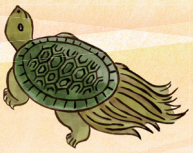
「宇佐神宮（大分県宇佐市）」
日本三大八幡宮の１つ。全国約 44000 社ある八幡宮の総本山であり、正月三が日には毎年 180 万人以上の参拝客で賑わいます。

基本理念

OITA MEDICAL CENTER

最新の医療技術・知識の修得に励み、病める人の立場に立ち、
人の尊厳・権利を尊重し「愛の心・手」で
最良の医療サービスを提供します。

新年のご挨拶



院　長
室　豊吉

新年あけましておめでとうございます。

先生方におかれましては、気持ちも新たに、そして健やかに初春をお迎えのこと、お慶び申し上げますとともに、旧年中に一方ならずお世話になりましたこと、心より厚くお礼申し上げます。そして本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年４月、国立病院機構が従来の「国家公務員型」から「非公務員化」されましたが、実務上はあまりというか、なんら変わりなく経過しているような気がします。裁量権が高まり、融通性が増えることを期待していましたが、むしろ非公務員化に伴う労働保険料の負担などにより、かえって苦労が増しています。

さて一昨年の 11 月から昨年３月までリニアック更新工事で、５か月間もの長期間、リニアック治療が中止となり先生方へ多大なるご迷惑をおかけしましたが、予定通り４月から再稼働し治療可能となりました。ご迷惑をおかけしましたことをお詫びしますとともに、今後ともご利用をよろしくお願いいたします。

そして今回は、心臓カテーテル装置の更新工事で、昨年 12 月 16 日から本年２月７日まで心臓カテーテル検査が出来ず、心筋梗塞など一刻を争う疾患で、先生方に多大なるご迷惑をおかけすること、この場を借りまして深くお詫び申し上げます。工事終了後すぐに再開の予定ですが、実際に再稼働日の決定時には改めましてご連絡いたします。

１年前に外来棟等建替改修整備につきましてご案内しましたが、現在基本設計段階ではあるものの、粛々と進めており、こののち実施設計を経て本工事となりますので、今後順調に進行しましても、実際の運用は、少し先になりそうです。進捗状況につきましては、本誌でまた報告いたします。

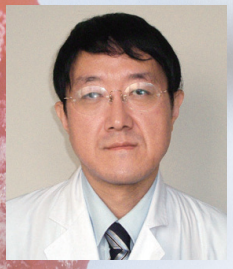
本年４月は診療報酬改定ですが、医師の技術料など「本体」をプラ

ス 0.49%、「薬価」を含めた全体はマイナス0.84%となりそうです。前回改定も消費税増税に伴う補填分を除けばマイナス改定で、実質は 2 回連続のマイナスです。「本体」は前回を上回る引上げですが、厳しい状況が続くことには変わりはなさそうです。各医療機関の努力だけでは如何ともし難いことが多く、悩みは尽きません。

大分駅を中心とする大分中心部が変貌を遂げました。12 月の大分駅前を中心としたライトアップの様や広場でのライブ演奏など、以前では想像すらできない光景でした。我々も旧態依然のままではいけません。ハード・ソフト面少しずつでも変貌させ前進したいと思っています。当院の理念にある「愛の心・手」で、地域の医療に貢献できるよう職員一丸となって努力しますので、先生方のご指導ご鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、先生方の今年 1 年のご健勝とご多幸を祈念いたします。

呼吸器内科紹介



呼吸器内科　部長
一宮　朋来

はじめに

呼吸器内科は現在 3 人の医師が常勤しています。平成 25 年度からは、私以下、中野哲治、横山敦の 3 人のスタッフで診療を行っています。私自身過去 2 回当院呼吸器内科に勤務していますが、平成 7 年に勤務時は 5 人体制、平成 10 年には 4 人体制、そして現在は 3 人体制と徐々にきびしい勤務体制となっています。さらに近隣では呼吸器内科医が常勤医として勤務している病院は少なく、入院依頼は多くなっています。しかし一騎当千のスタッフにささえられ入院・外来診療を続けています。当院での呼吸器内科の目標病床数は 39 となっていますが、これが常に上回る数字となっています。これもひとえに近隣の先生方の御紹介のおかげと感謝しています。学会による施設認定としては、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設を受けています。

診療内容

呼吸器内科では、気管・気管支・肺・胸膜の感染症、腫瘍、炎症、機能・形態異常、肺血管病変、呼吸の異常、急性・慢性呼吸不全などの疾患全般を診療の対象としています。外来では慢性咳嗽、急性上下気道感染症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの患者の受診が多く、入院では肺癌、呼吸器感染症（誤嚥性肺炎、肺抗酸菌症、肺真菌症）、間質性肺疾患、慢性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群の検査入院などの患者を多く診療しています。

気管支鏡検査

気管支鏡検査は 2013 年は 112 例、2014 年は 156 例と近年は特に増えてきており、従来検査日は週一日でしたが、2014 年からは週二日、水曜日と木曜日の午後に増やし対応しています。胸部異常陰影の精査、血痰・喀血の原因精査のために経気管支肺生検、擦過細胞診、気管支肺胞洗浄、吸引針生検、超音波気管支鏡（EBUS）などを行っています。

気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患（COPD）

咳は医療機関を受診する症状としては最も多い症状の一つであり、その原因として気管支喘息と COPD は非常に重要な疾患です。気管支喘息、COPD は罹患率の非常に高い慢性の呼吸器疾患ですが、正しく診断、治療されていないケースが多いのも事実です。当科では慢性の咳、痰、呼吸困難のある患者さまには、胸部レントゲン写真、血液検査、肺機能検査等を行い、診断がつけば吸入ステロイドや吸入気管支拡張薬を中心とした外来治療を行っていきます。

呼吸器内科 医長 中野 哲治

肺炎

厚生労働省が平成 23 年に発表した調査結果では、日本人の死因は悪性新生物、心疾患に引き続き、肺炎が第 3 位になり、長年三大疾患の一つとされてきた脳血管疾患（脳梗塞や脳出血）は第 4 位に転落しました。高齢化が進み、今後も肺炎で亡くなるお年寄りが増えることが予測されます。高齢者肺炎の特徴の一つには、発熱や咳嗽などの肺炎に特有な症状が出にくいことが挙げられます。全身倦怠感や食欲低下、活動性低下などの症状で病院を受診し、胸部X腺で肺炎が発見されることも少なくありません。また老人保健施設、介護施設といった高齢者福祉施設に入所中の方には認知症や脳血管障害の後遺症でコミュニケーションがとれない方もあり、症状を聴取できないことも診断を難しくしている理由の一つです。当科でも近隣施設、医療機関より多くの肺炎患者が紹介されており特に高齢者の肺炎を多く診療しています。当院ではこういった患者の入院加療から、退院までの流れの中を、医師や看護師のみならず、ICT（感染対策チーム）、NST（栄養サポートチーム）、言語聴覚療法士、理学療法士、ソーシャルワーカーなど多職種にわたるチームが適宜サポートできる体制を整えています。

肺癌

癌による部位別死亡数を最新の 2014 年のデータで見てみますと、肺癌は男性で 5 万 2505 人で 1 位、女性では 2 万 891 人で 2 位、男女合計では 7 万 3396 人も亡くなっています。肺癌の患者さんにみられる主な症状には、咳、呼吸困難（息切れ、息苦しさ）、体重減少、痰、血痰、胸の痛みなどがあります。しかし、早期の肺がんは症状が出にくく、健診や他の医療機関で施行した胸部レントゲン写真や胸部 CT でたまたま異常がみつかり紹介されるケースが多く見られます。診断のために気管支鏡検査を行いますが、陰影の場所によっては呼吸器外科に依頼し胸腔鏡下肺生検（VATS）を施行したり、放射線科に依頼し CT ガイド下経皮肺生検を行う事もあります。肺がんの治療については、(1) 手術（外科治療）(2) 放射線治療 (3) 化学療法（抗癌剤治療）の 3 つが中心となります。これらに加えて近年は、がんによる痛みや辛い症状を取り除いて QOL（生活の質）を改善するための「緩和ケア」を初期段階から組み合わせることが多くなっています。当科では週一回、呼吸器カンファレンスを行い呼吸器外科の先生も参加していただき症例の検討を行い、また月 2 回は大学病院の腫瘍内科から先生をお招きし、呼吸器内科、呼吸器外科、看護部、薬剤部など多職種のスタッフが集まり癌患者の治療方針を検討するキャンサーボードも開催しています。

呼吸器内科 医師 横山 敦

おわりに

簡単ではありますが、呼吸器内科の紹介をおわらさせていただきます。高齢化社会となって、肺炎や COPD、肺癌などの呼吸器疾患は今後も増加することが予測されます。これからも近隣の先生方のご要望にお応えすることができるよう可能な限り努力していく所存です。

今後ともよろしくお願いします。

連携医療機関のご紹介

猿渡整形外科スポーツリハクリニック

院　長	猿渡（さわたり）　知行（ともゆき）　先生
所 在 地	〒870－0265　大分市竹下２丁目126番地
TEL・FAX	TEL 097－593－0008　FAX 097－593－0058
ホームページ	http://sawatari-cl.com/
診療科目	整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科
病 床 数	無床
診療時間	月～水・金　8：30～12：30　14：00～19：00 木・土　8：30～13：00
休 診 日	木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

平素より大変お世話になっております。当院は昨年８月に大在にて開院させて いただきました整形外科クリニックです。大分医療センターより車で数分程度のところにあり、日頃より大変お世話になっております。診療所の役割として、できるだけ的確な初期診断をし、それに基づいてより高次の医療機関での治療をおすすめできる、それが患者さんにとって最大の利益になると思っております。この大在の地で、ご協力を賜りながらそのような医療環境を構築するために、一クリニックとして微力ながら尽力できればと考えております。開院以来、診療所として地域から求められる役割を追求するべく、すこしずつですが工夫してまいりました。近年やっと広まってきた整形外科領域のエコーですが、機器の性能がこの１、２年で飛躍的に向上いたしました。当院も最新のものを頑張って導入いたしましたが、靭帯損傷や潜在性骨折もMRIより高い解像度で把握できるようになり、私自身としても診療において日々小さな発見をしながら、楽しんで仕事をしております。注射もエコーの力を借りてピンポイントで必要なところのみにすることが可能となりました。また通院でのリハビリテーションに対する患者様の要望に応えるため、運動器リハビリテーションを充実させるべく努力しております。疼痛などのために日常生活に支障のある方、近隣病院にて手術をされ、回復期病棟でのリハビリテーションを経て、退院された方などに対する、さらなる機能回復のお手伝い、スポーツ障害のため競技ができない方のための復帰へのお手伝いができるように、リハビリにおける様々な手法をとりいれるようにしております。欧米では一般的に行われておりますリハビリテーションの手法であるマッケンジー法（mechanical diagnosis and therapy）も導入し、大分県内唯一の認定施設として、主として長期にわたる慢性的な腰痛、頚部痛に対する有効な方法として導入しております。まだ診療所として整っていない部分も多々ありますが、すこしずつ工夫しながら地域の患者さんに貢献できるように頑張ってまいりますので宜しくお願い申し上げます。

お知らせコーナー

入場無料

第3回

大分医療センター市民セミナー

日時　平成28年 1 月30日（土）　14時00分～16時00分
大分市横田２丁目11－45

会場　国立病院機構　大分医療センター会議室

テーマ
「がん」についてもっと知ろう！

1．講　演（14:00～15:30）

座長：副院長　穴井　秀明

1	「肺がん」について	呼吸器外科部長	高祖　英典
2	「肝がん」について	消化器内科医長	山下　　勉
3	「乳がん」について	外科部長	田原光一郎
4	「前立腺がん」について	泌尿器科部長	奈須　伸吉
5	「脳腫瘍」について	若林脳神経外科クリニック院長	若林　礼浩（大分東医師会）

2．健康相談（15:30～16:00）

がん専門の医師や看護師、医療ソーシャルワーカーが貴方の健康の悩みを解決します。

気軽に相談してね！

3．「健康チェック」コーナー

①血圧測定　②身長・体重測定　③乳ガン触診模型体験

主催　国立病院機構大分医療センター　TEL　097-593-1111
共催　一般社団法人　大分東医師会

外来診察医担当表

■ 受 付 時 間　8：30～11：00
■ 診察開始時間　8：30～

平成28年１月１日現在

診療科 ＼ 曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
代謝・内分泌内科	光冨　公彦	吉道　剛	吉道　剛	吉道　剛	吉道　剛
			光冨　公彦	光冨　公彦	光冨　公彦
腎臓内科			縄田　智子		
	[受付時間　8：30～11：00　診療時間　8：30～12：00]				
膠原病内科	濱崎　一	《月曜日が祝日の場合は、木曜日の午前中に診察します》			
	[受付時間　8：30～11：00　診療時間　8：30～12：00]				
消化器内科（肝センター）	福地　聡士	室　豊吉	福地　聡士	新関　修	室　豊吉
	山下　勉	新関　修	山下　勉	山下　勉	福地　聡士
	梶本　展明	山下　勉	得丸　智子	得丸　智子	梶本　展明
エコー	得丸　智子	梶本　展明		有川　淳子	遠藤　美月
循環器内科	有川　雅也	有川　雅也	大家　辰彦	大家　辰彦	大家　辰彦
	久米　治	久米　治	脇坂　収	脇坂　収	有川　雅也
呼吸器内科（呼吸器センター）	一宮　朋来	一宮　朋来	一宮　朋来	中野　哲治	一宮　朋来
	中野　哲治	横山　敦	中野　哲治	横山　敦	横山　敦
外科	穴井　秀明	穴井　秀明	田原光一郎	永田　茂行	田原光一郎
	黒田　陽介	的野　る美	永田　茂行 8：30～10：30	倉光正太郎	杉田　諭
			黒田　陽介 10：30～12：00		
呼吸器外科	（休　診）	高祖　英典	高祖　英典	（休　診）	高祖　英典
整形外科	曽根　崇史	曽根　崇史	（休　診）	曽根　崇史	曽根　崇史
	丸井　研吾	丸井　研吾		丸井　研吾	丸井　研吾
泌尿器科	午　前	午　前	午　前	午　前	午　前
	三木 大輔(新患)	奈須 伸吉(新患)	井上　享(新患)	三木 大輔(新患)	井上　享1,5週
	奈須 伸吉(再来)	井上　享(再来)	三木 大輔(再来)	奈須 伸吉(再来)	奈須 伸吉2,3,4週
	1,4週　井上　享 3週　奈須 伸吉 2,5週　三木 大輔		午　後（予約のみ） 1,2,4,5週　奈須 伸吉 (12:30～17:00) 3週　井上　享 (12:30～17:00)		
婦人科			西田　欣広		
	[受付時間　14：00～16：30　診療時間　14：00～17：00]				
放射線科	中村　雄介	染原　涼(午前)	中村　雄介	染原　涼	中村　雄介
		寺嶋広太郎(午後)			
内視鏡（胃腸センター）	田原光一郎	福地　聡士	新関　修	福地　聡士	新関　修
	新関　修	得丸　智子	梶本　展明	梶本　展明	山下　勉
					得丸　智子
内科系疾患で専門診療科の判断が困難な場合の担当科	消化器内科	代謝・内分泌内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科

【特殊外来のご案内】※完全予約制となっておりますので、下記にご連絡ください。

■ ひまん外来
毎週金曜日（祝日を除く）　**診察時間　14：00～16：00**
TEL　097-593-1111（内線235）　予約受付時間　月～金曜日　13：00～15：00

■ ストーマ外来
毎週金曜日（祝日を除く）　**診察時間　9：00～12：00**
TEL　097-593-1111（内線497）　予約受付時間　月～金曜日　8：30～17：00

■ 緩和ケア外来
毎週月曜日（祝日を除く）　**診察時間　10：00～12：00**
毎週水曜日（祝日を除く）　**診察時間　10：00～12：00**
TEL　097-593-1111（内線712）　予約受付時間　月～金曜日　8：30～17：00

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構　認定病院
独立行政法人 国立病院機構 **大分医療センター**
〒870-0263　大分市横田2丁目11番45号
TEL097-593-1111・FAX097-593-3106
地域医療連携室直通　FAX097-528-9651

のぞみ　第41号　2016年１月１日発行
発　行　独立行政法人　国立病院機構　大分医療センター 地域医療連携室
印　刷　陽文社印刷株式会社